

令和5年度第1回網走警察署協議会議事録

1 開催日時

令和5年6月29日（木） 午後2時00分から午後3時15分までの間

2 開催場所

網走警察署 会議室

3 出席者

(1) 北見方面公安委員1名

川瀬 敏朗

(2) 協議会委員6名（定員7名）

会 長 大塚 寛

副 会 長 渡邊 直子

委 員 高橋 美和子

白濱 敏

原 正春

山田 大

(2) 警察署員 9人

署 長 宮野 智幸

副 署 長 五十嵐 敏行

警務課長 宮脇 教悦

会計課長 萱森 明

生活安全課長 堀川 悠介

地域課長 大宮 久彦

刑事課長 大西 真琴

交通課長 森 和博

警備課長 三浦 幸治

4 会長挨拶

本日はお忙しい中本会議に御出席いただきありがとうございます。前期に引き続き会長をさせていただきます大塚です。警察署協議会の設立趣旨は、市民の声を警察署に届ける事で、事件や事故を未然に防ぐこととなっています。本日もこれまでと同様に委員の皆様から要望や意見を頂きたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

5 署長挨拶

網走警察署長の宮野でございます。今年の3月末に署長として着任しております。警察の仕事としては、検挙と防犯（予防）が両輪で対になっていると考えており、委員の皆様から意見を頂き業務に反映させ結果につなげたいと思っておりますのでよろしく

お願いします。

6 概況説明及び諮問事項

(1) 令和5年中における事件事故の発生状況

ア 犯罪の発生及び検挙状況、特殊詐欺被害状況

委員 網走署管内の犯罪発生状況の特徴として、粗暴犯の発生が増加しているとの事でしたが、原因にコロナ感染症への対応変化なども関係しているのでしょうか。

警察 確かに新型コロナウイルスへの対応が変わったことで、外出し飲酒する機会も増え暴行・傷害事件のほとんどが飲酒したうえで発生しています。

イ 交通事故の発生状況及び自転車使用者被害の事故発生状況

委員 女満別空港線を通勤で使用しているのですが、午前7時から午前7時30分ころの、交通量が少ない時間帯に明らかに速度超過している車両を良く見ます。児童の登校時間帯とも重なっていることから大変危険であり対応できないでしょうか。

警察 分かりました。現場を確認して対応したいと思います。

委員 道路の維持・管理で直接警察の業務で無いことは分かっているのですが、中央分離帯の雑草が伸び対向車線を見通すことができない場所があり、右折の際に大変危険な思いをします。

維持や管理は道路管理者が行うべきですが、警察署から危険解消に向けた働きかけ等はできないでしょうか。

警察 道路管理者との連絡体制は確保されていますので、危険箇所を把握して道路管理者に連絡したいと思います。

(2) 管内中学校におけるいじめ問題等について

委員 いじめの中で携帯電話を使用していたとのことですが、今の中学生はどの程度携帯電話を所有しているのでしょうか。

警察 調査したことが無いのでハッキリした数字は分かりませんが、8～9割の生徒が所有していると考えて良いと思います。

委員 携帯電話の使い方次第では「危ないことになる」「社会には怖い面もある」等の教育も必要なのではないでしょうか。

警察 警察でも各学校を巡回し防犯講話で、デジタルネイティブである生徒に対し危険性を知ってもらうと同時に、保護者には予防のためのフィルタリングの設定を呼びかけ被害に巻き込まれないよう指導を実施しています。

(3) 管内におけるヒグマの出没状況と事故防止について

委員 これまで個人的に熊は人間を襲わないと思ってきましたが、先日の朱鞠内での事故を聞き、考えを新たにしているところです。

警察 熊と出会い頭で出会うと危険と言われています。作業をする時やレジャーで山に入る時などには、熊鈴を身につけるなど音を出して存在を知らせることが重要だと思います。

先日、管内でも良く目撃されている藻琴地区の白鳥台小学校で、熊が出没したとの想定で対処訓練を実施しましたが、その中で熊の生態を熟知している知

床財団の職員から、市販されている熊撃退スプレーについて、適切に使用すれば効果があるとの説明もありました。

委員 熊の出没件数についてですが、実際にはまだまだ多いのではないのでしょうか。

警察 目撃情報については、地元以外の方からの通報がほとんどで、出没数はまだまだ多いのが実態だと思います。人的被害を出さないためにも、地元住民の方も油断せず警戒してもらうとともに、注意を呼びかけていただきたいと思っています。

委員 ここまで出没回数が増加していれば、生息数も増えているはずで要因としては、どの様なことが考えられるのですか。

警察 平成の時代に行政が「自然との共生」ということで、春熊の駆除を止めたことと、ハンターの高齢化と減少が要因として考えられます。

委員 私も目撃情報があれば、関係者に伝達すると同時に、地元猟友会に駆除を要請しているところですが、中々結果が出ないのが実態で、駆除の方法を抜本的に考え直す必要があるのではないかと感じてます。

警察 目撃情報があれば、全件現場臨場し付近住民に注意を呼びかける広報活動を実施するとともに自治体に箱罠の設置検討を要請しています。今後も、自治体には目撃情報に応じて箱罠の設置場所を変更してもらうなどの要請は実施していきたいと考えています。

7 講評

川瀬公安委員講評

8 次回の開催予定

令和5年10月中を予定